



津奈木中
学校便り
No. 19

夢実現・挑戦

令和7年2月26日

津奈木町立津奈木中学校

校長 高橋 裕二

「選択する力」、未来は自分で変える!!

3年生は、残すところ公立高校の後期選抜だけとなりました。生徒の皆さんは、津奈木町に住んでいるので、津奈木小と津奈木中に入学しました。今回、多くの3年生が人生で初めて進学する学校を自分で決めたと思います。

さて、「自分で選択すること」ができるかどうかで、学校生活の過ごしやすさが大きく変わると、日本教育新聞の記事にありました。

私達は、毎日何気なく生活していますが、実は選択を繰り返しています。例えば、休日に誰と何をして過ごすか、昼食は何を食べようか、次はどこに行こうか等です。



【2年 立志式】

ところが、最近の子どもの中には、「何をしたいか、したくないか」「何を選びたいか、選ばたくないか」などを、選択することが苦手な子が多く見られるそうです。

小さい頃から自分で選択し、「自分で変えられる」という経験を積み重ねることで、人生を創り上げるのは自分しかないことに気づき、主体的に生きる土台ができあがるそうです。

何かを決めるときに、いつも親や先生、友達など人任せにしていると、自分の人生を他人に任せることになり、もしかすると将来後悔することになるかも知れません。



【3年 薬物乱用防止教室】

3年薬物乱用防止教室で、学校薬剤師の吉富先生は、「夢を叶えるためには、自分で決めたことを、楽しんでやり続ける力が必要である」と、自分で決める(選択する)ことの大切さを、まとめで生徒に話されました。

熊本県学力・学習状況調査の結果及び分析

12月に実施された1・2年対象の県学力調査の結果が分かりました。あくまでも学力の一側面ですが、生徒への学習指導や先生方の授業改善などに生かしていきたいと思えます。

1・2年とも、国語・数学・英語の3教科すべてが、県平均を上回りました(2年は昨年度に引き続き)。また、町予算で本校独自に行った社会と理科の調査では、1・2年社会、1年理科が全国平均を上回りました。(社会・理科は県のデータなし)

授業や家庭学習などでの生徒の頑張り、先生方による学力向上の取組が、結果にも表れました。

今後は、思考力や判断力、表現力等が問われる全国学力・学習状況調査に向けて取り組んでいきます。

【学力の状況】

- 1・2年とも、「知識・技能」と「主体的に学習に取り組む態度」の観点で県平均と比べて特に高い。
- 2年は3教科平均で正答率3割未満が16%であった。

【生徒質問紙の状況】※「よく当てはまる」と回答した割合

- 授業で友だちと教えあう時間がある。(県差+19%)
- 授業で話し合ったり討論したりする時間がある。(県差+25%)
- テストで間違えた問題は後でやり直す(県差+15%)
- 平日1日3時間以上、テレビや動画、インターネットをする生徒は20%で、県平均より少ないが課題である。

【今後の対策や取組】

- ◇思考力を育成するために、全教科の授業で、生徒に「自分の考え」をもたせ、「表現する場面」を充実する。
- ◇自学ノートによる主体的な学びをさらに推進する。

1月中旬、人間ドックに行きました。残念ながら肝機能や血液検査の数値が過去最低でした。これまで、ほぼ毎日晚酌をしていたので、アルコールを減らすことにしました。2月は10日間休肝日を作ったところ、妻から「ストレスが溜まるからビール飲んだら」と心配されるほどでした。また、寒くなって止めていたエコパークでの運動や、自転車での湯の見海岸のサイクリングを再開しました。先日、熊本城マラソンをテレビで観ていて、放送終了5分前に中村教頭がゴールする姿を偶然見つけました(10分後に村崎先生もゴール)。私も心機一転、運動靴を購入しましたが、今のところ「100mジョグ+100m歩く」の3セットが限界です。3月の再々検査が楽しみです。